

「明日の法律家講座」

—なぜ法律家になるのか、どのような法律家になるのか—

会場参加
無料

昨今、弁護士の就職難が取りざたされています。こうした時代にあつては、合格後の明確なビジョンを持っていることが非常に重要になります。試験に合格するという事だけを目的に学習してきた受験生は、「合格後の活躍」を目指していないため、就職活動においてもなぜ当該事務所を志望するのか、入所後何をしたいのかを語る事ができません。結果として、どこにも就職が決まらない、という事態が生じてしまうのです。

この点、伊藤塾では、法律家の役割と仕事を受験生の皆さんとともに学び考える講演会「明日の法律家講座」を毎月開催しています。開塾以来270回以上の実績を持つこの講座では、法曹を志す皆さんの関心を踏まえながら、人権問題、国際問題、経済・社会問題、司法問題などについて、幅広い分野の方々に講師としてお招きし、ご自身の経験や考えを話していただいています。法律家の仕事の役割を具体的に学ぶことで、自らの法律家としての将来像をイメージすることができます。

また、法科大学院入試において要求される、パーソナル・ステートメント作成にあたって、合格後のビジョンを持っていることは非常に重要になります。

「合格後を考える」伊藤塾ならではの「明日の法律家講座」を活用して、活躍できる法律家を目指しましょう。



日本国憲法の草案作成者の一人で男女平等を書いたベアテ・シロタ・ゴードン氏をお招きした東京校第78回明日の法律家講座



東京大学教授・弁護士「長島・大野・常松法律事務所」非常勤顧問 佐藤安信氏 (東京校 第151回)



衆議院議員・弁護士 枝野幸男氏 (東京校 第140回)



ライフネット生命保険取締役副社長・元伊藤塾塾生 岩瀬大輔氏 (東京校第150回)

2010年・2011年に東京校で実施された「明日の法律家講座」ラインアップ

第160回 2010年1月16日

「弁護士は、その国の教養水準を代表する、と言えるのか？」
【松尾翼氏(弁護士、「松尾総合法律事務所」代表)】

第161回 2010年2月13日

「深まる法化社会と万民参加の時代～前検事総長が熱く語る」
【但木敬一氏(前検事総長、弁護士、「森・濱田松本法律事務所」所属)】

第162回 2010年3月27日

「あなたの選挙権は、一票未満の価値しかありません！～一人一票を実現しましょう～」
【升永英俊氏(弁護士・弁理士、TMI総合法律事務所パートナー)】

第163回 2010年5月19日

「新日系フィリピン(JFC)の現状と問題点～あなたはJFCをご存知ですか？～」
【DAWN(Development Action for Women Network:女性の自立のためのネットワーク)】

第164回 2010年5月22日

「日本の民主主義の将来～その代表民主主義の特異性とそれが日本の将来に齎す影響」
【福田博氏(元最高裁判事、弁護士、「西村あさひ法律事務所」顧問)】

第165回 2010年6月12日

「核兵器も米軍基地もいらない!? 9条市民外交でつくる平和で持続可能な地球社会」
【吉岡達也氏(「ピースポート」協同代表)】

第166回 2010年6月26日

「差別のない社会を目指して～全盲弁護士だからこそ見えたもの」
【大胡田誠氏(弁護士・伊藤塾入門講座出身)】

第167回 2010年7月10日

「わが国刑事司法への提言～冤罪事件を取材して」
【江川紹子氏(ジャーナリスト)】

第168回 2010年7月31日

「新しい弁護士の時代の夜明け～弁護士の本音と建前」
【戸田泉氏(弁護士法人ITJ法律事務所 代表弁護士)】

第169回 2010年8月28日

「企業法務における弁護士のチャレンジ～租税・行政訴訟からM&A案件(取引・買収防衛)まで」
【岩倉正和氏(弁護士、「西村あさひ法律事務所」パートナー、一橋大学大学院教授)】

第170回 2010年9月25日

「海外市場でチャレンジする企業家が将来の法曹家の皆さんへ期待すること～日米英中での事業展開の経験を通じて」
【久保居雅基氏(株式会社ピースダイニング代表取締役社長)】

第171回 2010年10月9日

「クジラ肉裁判と国際人権法～NGOや市民が不正を暴く権利はどこまで認められるのか」
【海渡雄一氏(弁護士、「クジラ肉裁判」主任弁護士)、鈴木徹氏(「クジラ肉裁判」被告人)、佐藤潤一氏(「クジラ肉裁判」被告人)】

第172回 2010年11月20日

「理想は高く、足元は着実に！」
【高須幸雄氏(前国際連合日本政府常任代表、外務省参与、人間の安全保障担当大使)】

第173回 2010年11月27日

「『弁護士』として生きるか否か？～弁護士資格がもたらすもの」
【石渡進介氏(「ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所」パートナー弁護士)】

第174回 2010年12月18日

「弁護士としてのこれまで、そして、これから～伊藤塾出身の若手弁護士が熱く語る」
【箭内隆道氏(弁護士、「虎門中央法律事務所」所属) 大久保涼氏(弁護士、「長島・大野・常松法律事務所」所属) 阿南剛氏(弁護士、「潮見坂総合法律事務所」所属)】

第175回 2011年1月15日

「アスベスト被害の責任を問うー首都圏建設アスベスト訴訟」
【水田敦士氏(弁護士、「北千住法律事務所」所属) 森孝博氏(弁護士、「渋谷共同法律事務所」所属) 他に原告の方2名】



弁護士・元伊藤塾塾生 大胡田誠氏 (東京校166回)



元東京地検特捜部長・弁護士・駿河台大学名誉教授・日本テレビ客員解説員 河上和雄氏 (東京校 第91回)



ヒューマンライツ・ナウ事務局長・弁護士 伊藤和子氏、弁護士・元伊藤塾塾生 鈴木麻子氏 (東京校 第154回)

2010年 法科大学院入試 合格者も「明日の法律家講座」を活用していました。



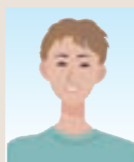
就職難に負けたくないビジョンを持つためにも「明日の法律家講座」が有益です。

Y. K さん (22歳)
金沢大学法学部4年在学中

■合格校
慶應義塾大学法科大学院 (既修)

■伊藤塾受講講座
入門講座本科生＋リーガルトレーニング
コンプリート論文答練 など

司法試験に受かって就職先がない、という報道がなされることがありますが、そのような状況の中で就職するためには、他の数多くの方と差をつけることが必要だと思います。例えば知的財産法は誰にも負けにくい極めた、など、自分の強みを持っていることや、労働者の弁護をすることを通じて社会をより良くしたい、などのビジョンを持っているといえます。ビジョンを持つためには視野を広げ、具体例を持つことが必要だと思います。その方法として、「明日の法律家講座」は実際に活動している方のお話を聞くことができ、その方々の世界を直にお話し頂いて知ることができ、非常に役に立つものだと思います。



「明日の法律家講座」で将来像を具体化。ステートメント作成時も苦はありませんでした

K. F さん (22歳)
青山学院大学法学部4年在学中

■合格校
早稲田大学法科大学院 (既修)

■伊藤塾受講講座
入門講座本科生、全国公開模試
京大ロースクール突破小教室 など

入門講座の説明会に参加し、伊藤塾長の話を聴いて、社会で苦しんでいる人達、声もあげられない人達を救うという法律家の仕事にあらためて強く惹かれました。そして、「合格後を考える」「人権を尊重する真の法律家を育成する」という伊藤塾の理念に惹かれ、大学1年生の2月に入塾しました。ステートメントに着手したのは、願書提出1週間前くらいでしたが、入塾当初から「明日の法律家講座」や伊藤塾での元裁判官の講演会などに頻繁に参加しており、自己の将来の法律家像についてはかなり明確で具体的なものができあがっていましたので、講座を参考にしつつ、2日くらいで仕上げました。

■「明日の法律家講座」東京校（渋谷）実施実績（その他各校舎でも実施しています。）※講師の肩書きは、講演会当時のものです

2009年		
第159回	12月 2日	「最高裁と憲法判断～国民から信頼される司法のために」 【TMI総合法律事務所】所属弁護士、元最高裁判事 泉徳治氏】 「過労死のない職場・社会を作ろう! ～勤労感謝の日を前に」 【「東京駿河台法律事務所」所属弁護士 玉木一成氏・島田佐紀氏 ※島田氏は元伊藤塾塾生です。
第157回	10月10日	大規模法律事務所の魅力 ～企業法務・渉外業務を手がける大手規模事務所と所属弁護士の実像について～ 【アンダーソン・毛利・友常法律事務所の先生方 広瀬卓生氏、戸塚貴晴氏、額田雄一郎氏、高岸直子氏、諏訪公一氏】
第156回	9月19日	「裁判官はなぜ語るのか…」【2009.4.14最高裁逆転無罪判決】を素材として 【元裁判官・弁護士 秋山眞三氏】
第155回	8月29日	「性的マイノリティーの権利～つながら合える社会のために～」 【「東京都南部法律事務所」所属弁護士 永野靖氏】
第154回	7月22日	「すべてのひとたちの人権が守られるように! ～ヒューマンライツ・ナウが目指すもの～」 【ヒューマンライツ・ナウ事務局長・弁護士 伊藤和子氏、弁護士・元伊藤塾塾生 鈴木麻子氏】
第153回	6月20日	「大手渉外事務所の弁護士の活動分野を熱く語る!」 ～証券会社への出向や留学体験等に熱しながら 【「森・濱田松本法律事務所」所属弁護士・元伊藤塾塾生 松澤香氏】
第152回	5月20日	「貧困問題を考える」 第一部「アメリカは変わるのか?そして日本の未来は～貧困問題と憲法」 【ジャーナリスト・著作家 堤未果氏】 第二部「貧困問題と弁護士の役割～『住みやすい貧困』を中心として」 【弁護士 林治氏】
第151回	4月11日	「グローバル社会の法曹～「人間の安全保障」の担い手をめざして」 【「長島・大野・常松法律事務所」非常勤顧問・弁護士・東京大学教授 佐藤安信氏】
第149回	1月24日	「司法の崩壊」を食い止めるには ～法曹人口年間3000人増員計画と法科大学院を中心とする法曹養成制度を考える～ 【自民党衆議院議員・前法務副大臣・河井克行氏】

2008年		
第148回	12月20日	「人生意気に感ず!～生まれ変わってもまた弁護士になりたい!」 【弁護士・ラ・ヴェリテ法律事務所・伊藤塾講師 千田洋子氏】
第147回	11月29日	「国際組織で働く弁護士になる!」 ～グローバルな人権保護のフロントランナーとして、日本初のNGO勤務弁護士として 【弁護士・ヒューマンライツ・ウォッチ日本代表・元伊藤塾塾生 土井香苗氏】
第146回	10月25日	「情熱を燃やし続けた我が検察官生活を振り返って」 ～これからの法曹に求められるものは「素朴な正義感」 【元東京地検特捜部長・名古屋地検検事長、現中央大学法科大学院教授・弁護士 宗像紀夫氏】 「変革の時代における弁護士の使命と可能性～成長し続ける法律事務所の魅力とは」 【TMI総合法律事務所】の弁護士の先生方 山口芳泰氏、葉玉匡美氏、岡田英之氏、原直宣氏、福田勝之氏、大鼓利枝氏】
第144回	9月13日	「冤罪布川事件40年のたにかい～再び審の扉への最終章」 【弁護士 谷萩陽一氏、桜井昌司氏、杉山卓男氏 （桜井、杉山の両氏は「強盗殺人事件」で無期懲役刑が確定した元被告の方）】
第143回	8月23日	「死刑事件と裁判員の参加する刑事裁判～改めて「裁判員制度」を考える その(1)」 【青山学院大学大学院法務研究科教授・弁護士 新倉修氏】
第142回	7月26日	「自衛隊のイラク派兵は憲法違反!～4月27日の名古屋高裁判決の意義」 【外交評論家・作家 天木直人氏】
第141回	6月21日	「熱風地獄・東京大空襲～戦後62年経てなぜ訴訟を提起したか?」 【弁護士 中山武敏氏、東京大空襲原告 豊村美恵子氏】
第140回	5月24日	「弁護士資格を国政の場で活かそう!政策通として活躍するために」 【衆議院議員・弁護士 枝野幸男氏】
第139回	5月 6日	「刑事司法制度の改革課題」【龍谷大学教授・福島至氏】
第138回	4月19日	「薬害肝炎訴訟～薬害被害者が内閣総理大臣を動かすまで」 【弁護士 濱野泰嘉氏、薬害肝炎訴訟・原告 久野郁子氏】
第137回	3月 1日	「憲法改正と愛国心問題～天皇制や日の丸、君が代問題などに触れながら」 【「一水会」顧問・評論家・文筆家 鈴木邦男氏】

2007年		
第136回	10月14日	「ただの「目配せ」でも共謀罪成立?」 ～国連条約などにも触れながら、共謀罪の問題点を検証する」 【衆議院議員・保坂展人氏、弁護士・海渡雄一氏】
第135回	8月 1日	「改憲の課題と方向～いわゆる護憲論と改憲論の問題点を抉る」 【法学博士・慶大教授・弁護士 小林節氏】
第134回	6月10日	「我が国の大規模総合法律事務所の業務と社会的使命～その現在と未来」 【森・濱田松本法律事務所の弁護士の先生方 土屋智弘氏、鈴木克昌氏、内田修平氏、正田美和氏】
第133回	3月17日	「君は横浜事件を知っているか?～現在も続く治安維持法事件、司法の問題点を抉る」 【弁護士・森川文仁氏、横浜事件第3次再審請求人・木村まさ氏】
第132回	1月13日	「広がる法律家の活躍するフィールド」 ～法律家として、大手企業・大手渉外事務所・中央官庁で働いてみて」 【弁護士・分部悠介氏】

2006年		
第131回	10月28日	「ピラを配っただけで犯罪なの?～恣意的な取締りをゆるすな」 【弁護士・伊藤塾講師 中村政介氏、刑事被告人・荒川氏】
第130回	9月15日	「平和国家を問う沖縄」【琉球大学法科大学院教授・仲地博氏】
第129回	8月23日	「再び薬害肝炎について～弁護団・原告は訴える」 【弁護士・小松彦彦氏、原告の方】
第128回	7月30日	「核兵器は人間の尊厳に反する～原爆症認定訴訟前面勝訴の意味」 【弁護士・藤原精吾氏、被爆医師・肥田舜太郎氏、弁護士・徳岡宏一朝氏】
第127回	5月27日	「弁護士から行政官への出向～会社法整備法の立法業務に携わって」 【弁護士、元伊藤塾塾生 渡邊寛一氏】
第126回	3月31日	「裁判員制度～あなたならどうする?」 ●第一部 法務省作製の映画鑑賞 ●第二部 パネルディスカッション。 【パネリストは、畑野隆二氏（法務省刑事局長総務課、裁判員制度啓発推進室所属）、藤森研氏（朝日新聞編集委員兼論説委員）、庭山英雄氏（弁護士、伊藤塾講師）。司会は数田みほ氏（「市民の裁判員制度・つくり会」事務局長）】
第125回	2月12日	「会社法とその基本原則」 【法務省民事局付検事 葉玉匡美氏】

第124回	1月28日	「若手弁護士成功マニュアル～弁護士大量増産時代を迎え撃つ!」 【弁護士・伊藤塾講師 濱信明氏】
2005年		
第123回	12月23日	「敵対的M&Aの実務と弁護士～ビジネスロイヤーに求められる視点と能力」 【「三井法律事務所」の先生方 猪木俊宏氏、大塚和成氏】
第122回	11月 5日	「世界で通用する真のプロフェッショナルとは?～「法曹以外」の選択肢を考える」 【ハーバードビジネス・スクール在学中・元伊藤塾塾生 岩瀬大輔氏】
第121回	7月23日	「憲法を実現する人びとと法文化」 【ノンフィクションライター 田中伸尚氏】
第120回	6月27日	「ひとりひとりを大切に～100人の村と日本国憲法」 【ドイツ文学者・翻訳家 池田香代子氏】
第119回	4月18日	「弁護士業務の今、そして、これから～大手事務所の弁護士の熱く語る」 【講師 「シデュウ法律事務所」所属の弁護士6名の方（後藤出氏、片山典之、栗林康幸氏、磯部健介氏、岡内真哉氏、柳沼菜穂子氏）】
第118回	3月18日	「ジェンダーの視点と司法改革～両性の平等の実現へ」 【弁護士・明治大学法科大学院教授 角田由紀子氏】
第117回	2月24日	「当事者間の公正とは何か」【弁護士 椎名麻紗枝氏】
第116回	1月18日	「未来のLawyerへ」 【弁護士・早稲田大学法科大学院助教 ケント・アンダーソン氏】

2004年		
第115回	12月 7日	「法律家のプレゼンカ」 【弁護士・日本弁護士連合会司法改革調査室 工藤 美香氏】
第114回	11月18日	「軍事基地問題と法律家の役割」 【弁護士・前沖縄弁護士会会長 新垣 勉氏】
第113回	11月 2日	「司法養成制度改革の現状と課題」 【大宮法科大学院大学副学長・教授 宮澤 節生氏】
第112回	10月19日	「国際法務と弁護士業務の大転換」 【早稲田大学法科大学院客員教授・弁護士 上柳 敏郎氏】
第111回	8月31日	「弁護士の武器としての憲法」 【弁護士・日本民主法律家協会事務局長 澤藤 統一郎氏】
第109回	7月 3日	「企業社会の変化と弁護士の役割」 【弁護士 牧野 二郎氏】
第108回	6月19日	「「市民の駆け込み寺」法律事務所奮戦記」～都市型公設事務所の試みと新たな展開～ 【弁護士 丸島 俊介氏】
第107回	5月22日	「弁護士が活躍する分野が増える!」～その可能性と弁護士の責任～ 【早稲田大学大学院法務研究科教授 須網 隆夫氏】
第106回	4月24日	「いまこそ憲法とその理念を学び考える」 【名古屋大学教授・元司法試験審査委員 浦部法穂氏】
第105回	3月27日	「若き法曹たちへ」～君達の未来は無敵である～ 【弁護士・元衆議院議員・元首相補佐 錦織淳氏】
第104回	2月22日	「薬害肝炎とは何か」～沈黙を超えて、薬害肝炎被害者とともに～ 【弁護士 早瀬薫氏 薬害肝炎訴訟原告と市民】
第103回	1月24日	「犯罪情勢と刑事司法」【元東京高検刑事部検事・弁護士 井康行氏】

2003年		
第102回	12月20日	「裁判所の内外」～法律家の社会的役割～ 【最高裁判事・弁護士 園部逸夫氏】
第101回	11月29日	「弁護士業務の実際」 【長島・大野・常松法律事務所所属の先生方による座談会】 【9条の英知を世界に・未来に! 9条にノーベル平和賞を!」 【オハイオ大学名誉教授・「第9条の会 / USA」創立者 チャールズ・オーバービー氏 （発言者:三木睦子氏 國弘正雄氏 伊藤眞塾長）】
第99回	10月 4日	「冤罪は司法の犯罪」～草加事件で裁かれるもの～ 【弁護士 安原幸彦氏】
第98回	9月 6日	「これからの法曹と国際人権法」～国際社会で活躍するために～ 【龍谷大学法学部教授 戸塚悦朗氏】
第97回	6月21日	「刑事裁判官33年」～その仕事の重みとやりがい～ 【神戸地裁姫路支部判事 伊東武氏は氏】
第96回	5月24日	「カンボジアの法曹養成支援レポート」 ～アジアの時代の法律家の使命について熱く語る～ 【弁護士 木村晋介氏 桜木和代氏】
第95回	4月23日	「忘れられた犯罪被害者」～刑事司法における正義を求めて～ 【弁護士・「全国犯罪被害者の会」代表幹事 岡村勲氏】
第94回	3月29日	「被告人・弁護人は「痴漢裁判」の実際とどう闘ったのか?」～「痴漢冤罪」防止のために～ 【弁護士 鳥海準氏 「痴漢裁判」元被告人の方】
第93回	2月15日	「比較憲法入門」～四つ々の89年の意味するもの～ 【早稲田大学教授 樋口陽一氏】
第92回	1月25日	「司法の尺度は「憲法」と「正義」～真の「司法国家」実現のために～」 【弁護士・弁理士 升永英俊氏】

2002年		
第91回	12月10日	「検事に求められるもの 弁護士に求められるもの」 ～元特捜部長が語る法曹の条件～ 【東京地検特捜部長・弁護士 河上和雄氏】
第90回	11月18日	「中国の司法と法律家」～中国人弁護士の視点から～ 【中国弁護士 範雲清氏】
第89回	10月 2日	「「いさぎの庭」から「法の庭」へ」～元海軍士官の弁護士日誌～ 【弁護士 斉藤一好氏】
第88回	9月 8日	「刑法の理論と実務」～過失犯論をめぐって～ 【東京都立大学教授 前田雅英氏】
第87回	8月 7日	「なぜ弁護士とNGOが手を組むのか?」 【弁護士 土井香苗氏 国際NGOピーススポーツスタッフ 伊知地亮氏】 （映画上映会）「人として生きる」～最大・最古の職業病、じん肺の根絶を目指して～ 【弁護士 井上聡氏】
第85回	6月15日	「改めて立憲主義を問う」～戦後補償、日の丸・君が代、靖国、有事法制、その他～ 【弁護士 内田雅敏氏】
第84回	5月25日	「契約更改と代理人交渉」～スポーツ界での弁護士の役割～ 【弁護士 上杉昌隆氏】

第83回	3月27日	「企業法務に期待されるもの」～企業法務担当者から弁護士になって～ 【弁護士 山口裕司氏】
第82回	3月 9日	「国会の憲法論と平和主義」 【一橋大学教授 浦田一郎氏】
第81回	2月16日	「ハニセン病訴訟の舞台裏」～報道されない弁護士の取り組み～ 【弁護士 野間啓氏】
第80回	1月26日	「グローバル反テロ戦争の問題性」～人間安全保障の観点から～ 【中野大学・学習院大学教授、元国連大学副学長 武者小路公秀氏】

2001年		
第79回	12月 1日	「メディアは市民の敵なのか?」～岐路に立つ言論・表現の自由～ 【弁護士 梅田康宏氏】
第78回	10月31日	「「女性の権利」誕生の舞台裏」～日本の皆さんへのメッセージ～ 【ヘアデジロタ・ゴードン氏】
第77回	10月 6日	「少年法の理念と改正法」～少年犯罪の現状を踏まえて～ 【帝京大学教授・元最高検察庁検事 土本武司氏】
第76回	9月 8日	「住民運動と弁護士の役割」～豊島産産25年の闘い～ 【弁護士・大阪弁護士会元副会長 大川真郎氏】
第75回	9月 1日	「21世紀のあるべき司法の姿とは」～市民のための司法を求めた実践報告～ 【弁護士・日弁連司法改革実現本部部長代行 宮本康昭氏】
第74回	6月30日	「オランダの法律家と刑事司法手続」～蘭日比較研究を通して～ 【オランダ文部省「日本研究プログラム」研究生 ウィーベ・デ・フリース氏】
第73回	6月20日	「灰からの復興!」～法律家の国際協力～ 【エリトリア アスマラ大学法学部助手 セリセナ・デブレジオン氏 弁護士 牧野二郎氏】
第72回	6月16日	「見過ごされた警告」～薬害ヤコフ病～ 【弁護士 森真子氏 坪由美子氏】
第71回	5月30日	「これからの日本はどうあるべきか?」～法と常識の視点から～ 【参議院議員・元札幌高検検事長 佐藤道夫氏】
第70回	5月19日	「子供達と憲法を考える」～小児科医の経験をふまえて～ 【衆議院議員・小児科医 阿部知子氏】
第69回	4月14日	「少年犯罪被害者の権利回復を」～加害者の反省・更生とともに～ 【弁護士 児玉勇二氏】
第68回	3月 3日	「「表現の自由」の今日的意義」～報道と人権をめぐって～ 【弁護士 梓澤和幸氏】
第67回	2月17日	「行政の情報公開を求めて」～オンプスマン活動の経験と今後～ 【弁護士 高橋利明氏】
第66回	1月20日	「企業法務弁護士の魅力」 【弁護士 河井聡氏 佐藤正謙氏 角田大憲氏 野口祐子氏】

2000年		
第65回	12月 2日	「あなたも明日から国際人権～私たちが見つけた若手法律家の可能性 in NGO」 【1999年度合格者 猿田佐世氏 難民支援協会 石川えり氏 弁護士 土井香苗氏】
第64回	11月18日	「ひき逃げ犯人として裁かれて…～逆転無罪・連勝事件を検証」 【連勝事件元被告人 遠藤祐一氏 弁護士 阿部泰雄氏】
第63回	10月21日	「開かれた司法」～裁判官と市民」 【裁判官 仲戸川隆人氏】
第62回	9月16日	「損害賠償と慰謝料～医療事故を素材として」 【弁護士 上田智司氏】
第61回	8月26日	「ドイツの司法と法曹徒～ドイツ司法試験合格者に聞く」 【1999年ドイツ司法試験合格者 マーク・テルノヴァ氏】
第60回	7月 8日	「乱歩賞作家が「現代司法」を斬る～弁護士の眼・作家の眼」 【弁護士・作家 中嶋博行氏】
第59回	6月17日	「冤罪事件が発生する土壌とそれを防ぐための方策」 ～「甲山事件」の実証的考察と「司法改革」への提言 【弁護士 片見富士夫氏】
第58回	5月20日	「モンゴロ国法整備支援レポート～国際化時代の法律家へ」 【司法書士 原田美穂氏】
第57回	4月 1日	「弁護士から「民衆の裁判官」をころざして～その経験と意義」 【弁護士（元日弁連副会長）、元裁判官 田川和幸氏】
第56回	3月11日	「公害・環境裁判の新段階」 ～自動車メーカーの責任を追及する東京大気汚染訴訟の挑戦 【弁護士 小沢年樹氏】
第55回	2月12日	「児童虐待 その背景と救済～アメリカでの研修を踏まえて」 【弁護士 山田由紀子氏】
第54回	1月22日	「グローバルスタンダード時代に求められる法律家像」【公認会計士 杉田純氏】

1999年		
第53回	12月18日	「患者の権利とは何か～医療事故訴訟の現場から」 【弁護士 鈴木利廣氏】
第52回	11月20日	「事件を通じてのマイノリティーの権利」 ～永山則夫死刑判決事件・アイヌ肖像権事件・障害者の問題など 【弁護士 大谷恭子氏】
第51回	10月23日	「21世紀に求められる人間像・法曹像」 【宮城大学学長・多摩大学名誉学長 野田一夫氏】
第50回	9月18日	「陪審裁判は嫌いですか」 【弁護士（日弁連司法改革推進センター委員） 四宮啓氏】
第49回	8月28日	「死刑台からの生還～実録・松山事件」 【元死囚囚（元松山事件被告人） 斎藤幸夫氏 弁護士（元日弁連副会長） 青木正芳氏】
第48回	7月17日	「裁判官の大切にしているもの～その本質と限界」 【前宮崎地裁判事（出向中） 浅見寛義氏】
第47回	6月26日	「企業内弁護士の光と影」 【弁護士 佐伯一郎氏】
第46回	5月22日	「社会正義実現の最後のとりで」 【内閣広報官 宮脇謙介氏】
第45回	4月24日	「少年事件・審判を考える」 【法務省刑事局刑事法法制課 検事 甲斐行夫氏 弁護士（日弁連子どもの権利委員会委員） 古口章氏】
第44回	3月13日	「法律と国家を創る～「途上国」への司法協力」 【弁護士 上柳敏郎氏 エリトリア青年同盟法律顧問 モハメッド・アルハッサン氏 エリトリア アスマラ大学助手 ツァガエイ・ラアクィ氏】
第43回	2月 6日	「私が出会った法律家たち～司法記者のメモ帳から」 【東京新聞・中日新聞論説委員 飯室勝彦氏】

第42回	1月23日	「家事事件の喜怒哀楽 ～「家裁の人」に聞く」 【弁護士・元裁判官 安倍晴彦氏】
------	-------	--

1998年		
第41回	12月12日	「映像で考える裁判のあり方～日独司法ウォッチング」 【北海道大学教授 木佐茂男氏】
第40回	11月28日	「「薬害エイズ」絶望からのたにかい～裁判で、そして国会で」 【元大阪HIV 訴訟原告団代表・衆議院議員 家西悟氏】
第39回	10月10日	「深刻化する多量債務問題と法律家の役割」 【弁護士 宇都宮健児氏】
第38回	9月26日	「都会型実務法律家の夢と反省と」 【弁護士 松尾賢氏】
第37回	8月22日	「法務・労務から企業をサポート～弁護士の専門性への期待」 【弁護士 木下潮音氏】
第36回	7月 4日	「5年間の検察ノート～捜査・公判に携わって」 【弁護士・元東京地検検事 志賀こず江氏】
第35回	6月13日	「歴史的勝訴が社会を変えた～ドキュメント「自殺過労死裁判」」 【弁護士 藤本正氏】
第34回	5月20日	「事実・真相に切り込む～報道現場から司法を視る」 【テレビ朝日キャスター 鳥越俊太郎氏】
第33回	4月18日	「働く女性の泣き笑い～ともに学ぶ弁護士日記」 【「兼松訴訟」原告 逆井征子氏 弁護士 中野麻美氏】
第32回	3月28日	「「法化社会」を切り拓け」～弁護士の仕事が変わる」 【弁護士 久保利英明氏】
第31回	2月21日	「刑事弁護リネッサンス～「日本型公設弁護人事務所」設立へ」 【弁護士 櫻井光政氏 弁護士 神山啓三氏】
第30回	1月17日	「獄中29年、無実の訴えと仮出獄の思い～布川（ふかわ）事件を追う」 【桜井昌司氏 杉山卓男氏 弁護士 柴田五郎氏】

1997年		
第29回	12月 6日	「国際人権問題にとりくむ～アムネスティの現場・法律家の現場」 【アムネスティ・インターナショナル日本支部 三宅伸吾氏】
第28回	11月15日	「いま公共事業が問われている～「ムツゴロウの海」の平拓をめぐって」 【弁護士 西田研志氏 諫早干潟緊急救済本部代表 故・山下弘文氏】
第27回	10月18日	「「ナニワ金融道」に学ぶもの、の見方、考え方」 【「ナニワ金融道」作者 故・青木雄二氏】
第26回	10月 4日	「アジア開発と日本の責任～セブ島で聞いた「開発難民」の声」 【ルポライター 廣訪勝氏】
第25回	9月20日	「日本経済の現状と法律家への期待～企業活動と法律を考える」 【コマツ専務取締役 萩原敏孝氏】
第24回	9月 6日	「弁護士として住民とともに～北海道のナキウサギ訴訟をたたかう」 【弁護士 市川守弘氏】
第23回	8月23日	「個性的に生きる、自分を活かそう～ライブハウスと法廷で」 【弁護士 森川文仁氏】
第22回	7月26日	「弁護士を依頼する権利」 【弁護士・インターネット弁護士協議会代表 牧野二郎氏】
第21回	7月12日	「民事事件、家事事件あれこれ～裁判官の視点から」 【弁護士・中央学院大学教授・元東京高裁判事 故・松岡靖光氏】
第20回	6月21日	「42,195キロ、ニコルが見えた～贈書を乗り越え金メダル」 【アトランタ・パラリンピックのマラソン金メダリストとその伴走者 柳川春己氏・安田享平氏】
第19回	5月17日	「私が犯人とされた12ヶ月間～松本サリン事件の捜査と報道」 【松本サリン事件被害者 河野義行氏】
第18回	4月 5日	「冤罪の原因と裁判所・裁判官の責任～徳島ラジオ商殺し事件の顛末をふまえて」 【弁護士・元徳島地裁判事 秋山眞三氏】
第17回	3月 8日	「渉外事務所の日々とその役割」【弁護士 宮川美津子氏】
第16回	2月15日	「米・独・仏の法律と法曹徒」 【ヲトガース・ロースクール教授、フロリダ州弁護士 リチャード・ハイランド氏】
第15回	1月25日	「熱血弁護士、外国人の人権を語る」 【弁護士（国際法協会人権連絡責任者） 梓澤和幸氏】

1996年		
第14回	12月 7日	「“無罪”を勝ち取った少年たちが何故また裁判に?～調布駅南口事件の捜査と裁判」 【弁護士 伊藤俊克氏】
第13回	11月16日	「裁判制度と裁判官～日独の裁判の比較を中心に」 【慶應義塾大学教授・元札幌高裁判事 平良木登賢男氏】
第12回	10月23日	「弁護士4年目の事件カルテ」 【弁護士 小野晶子氏】
第11回	10月12日	「隠されていた危険～ここが危ない日本の原発」 【原発被曝労働者救済センター代表 故・平井憲夫氏】
第10回	9月25日	「落ちこぼれた者の生き方」 【弁護士・元日弁連会長 中坊公平氏】
第9回	9月18日	「現職検事が語る「検察官の使命」」 【検事 馬場浩一氏】
第8回	7月 6日	「日本フィリピン混血児問題・残留孤児問題」 【弁護士 西田研志氏】
第7回	6月 8日	「特別映画会「地球交響曲第2番（ガイアシンフォニー）」【龍村仁監督】」
第6回	5月18日	「新たな核時代における日本国憲法」 ～ヒロシマ・オキナワ・ベルリン、そしてチェルノブイリの現場から 【早稲田大学教授 水島朝穂氏】
第5回	4月27日	「今、求められる法律家とは?」 【参議院議員・元札幌高検検事長 佐藤道夫氏】
第4回	4月14日	「激動の時代の刑事裁判」 【弁護士・日弁連刑事弁護センター委員長 寺井一弘氏】
第3回	3月23日	「国際社会と日本国憲法」【明治学院大学教授 浅井基文】
第2回	2月24日	「沖縄における基本的人権と国民主権」 【沖縄職業能力開発短期大学校講師 村上有慶氏】
第1回	1月28日	「薬害エイズ訴訟」【弁護士 寺町東子氏 原告の方】

「明日の法律家講座」の一部は、インターネット講義で配信中です。

2005年以降に実施された講演会は、各校ブースで、ご予約のうえご覧いただけます（一部を除く）。